

## Letter from Tsuruno Meguro to Yoneko Takano, [June, 1942]

よねさん御手紙有難う。サンタニタも暑いでしょうが、ポモナも暑いですよ。あまり水のみますと魚になりますから気をつけなさいよ。暑くて家の中に居られませんでした。今日は暑くなくて凌ぎよかったですよ。家のところは食堂が近いのでウエンドーあけますと、すすがはいりますのであけられませんかので家の中はおゆの中のようですよ。サムタイム風がかわってくるとよろしいのですけれど。毎日同じカゼが吹きますのでこまります。ブラスからだにあいますか。よし子がぬったのをなおしてやりましたの。コーモリガサもいるなら送りますよ。暑い時みんなさいてあるきますよ。リヨノホケンカイシャからテガミまいりましたから、正子に金は送られないと書いて送ってもらいました。其の返事三年かけないからだめなそうです。また平和になってからはいるように、やめることにしました。家の荷物たのみました。あとは何のテガミもありません。ミシンもってくるとよかったですと思います。毎日同じこと。みんな働いて居りますので毎朝センタク

家の中ハイタリ、フイタリ、アイアンカケタリ、なかなか忙しいですよ。いろいろならうところあります。サイホー、イケバナ、ラグコシライ。私もラグコシライならいにまいります。この七月四日にはいろいろヨキョーがあります。スモウ・ジュード、カツドー、オドリいろいろやるそうです。毎タケイコですよ。すぐうしろは麦畑です。パパは毎夕見に行きます。毎日昼湯に入りましてねてまた夜ねる。パパはよくねますよ。あとでもよいというのに。けさは早くおきて、パパはキーポンもらいに朝はんも食べないでならびにいきました。人が多いので朝早く行かないともえません。ママパパ四弗十六才上の方は2.50、十五才下は1.00です。マンデーからくれています。それは一ヶ月の中でみなつかわねばならないそうです。働いて居る人も月給もらうそうです。サンタニタはどんなですか。いろいろとでまばかり。ポモナの人々もどこへ移されるか我々にはわかりません。毎日変わるのですから。どこへやられましても心配しないで。平和になりますまで。また会う日まで

よね子や

こんなになで書いてもよめませんか。二三男さんのパパによんでもろたなんてはじかしいですよ。朝早くおきませんと朝はんたべられませんかね。ねておりますとおなかがすきますね。なかなか忙しいでしょうね。それから阿部シンゴさんがかえって来たとありましたね。あの阿部さんとちがう人というておられる人が居られます。移川さんのオバさんに話したところ、なんのつらでそんなことやされるといってたいへんおこって居りましたの。何かわ\_\_\_ずあるんでしょう。何もききませんでしたけれども。相変わらず元気で居られますよ。家のとりのとなりにイツ子さんという四ツになる女子さんが居られますの。おしゃべりでとてもおもしろいですよ。毎日家へ来て一人でおしゃべりしていますの。パパさんはニーメキシコノキャンプへ行って居ります。コノサンデーニハスミスハカセが来て話して下さるそうです。よく白人の方が来て話しますよ。いろいろ\_\_よい話して下さいます。あなたたちも時々教会いきなさい。どうしてもしんこうありますと、子供の教育する時によいですよ。私もわかい時から教会へ行って居られたならと思いますよ。こんなチャンスはないですよ。すっかり心をみがく時を神様が

あたえて下さいましたのですよ。きのうよし子がステームアイロンおとしてこわしましたの。  
もつところおれましたよ。おかね出してこしらえるよりもそのままにしておきます。私たちム  
ーブするのは九月頃と人の話です。アーカンソーというて居られますよ。この戦争も長い事も  
ないでしょう。それまで仲よく過ごしなさいよ。妹さんベビ生まれましたか。皆元気でしょう  
ね。また書きますから元気で仲よくね。ママより

二三男様米子様

食べものも年とった人、女の人にはよろしいです。わかい人達もおかわりして下さいますから  
よろしくなりました

よね子や、ヒルという字は下へーの字が忘れてますよ

書 カク

晝 ヒル

[Written at Pomona Assembly Center]